

とくぎんトモニアリーナ（徳島市立体育館）の現状と課題



- (所在地) 徳島市徳島町城内 6 番地
(竣工) 昭和 53 年 9 月
<経過年数 39 年 7 カ月 (平成 30 年 4 月 1 日現在) >
(指定管理者) 公益財団法人徳島市体育振興公社

【施設の概要】

- ①建築面積 4,799.62 m²
②延床面積 5,831.7 m² (1階 4,086.76 m²、2階 1,744.94 m²)
③構造 鉄筋コンクリート造鉄骨 2階建
④体育館 第1競技場：1,485 m² (45m×33m)
第2競技場：832 m² (26m×32m)
多目的室：200 m²
その他：会議室、子育て支援ルーム、特別室など

- ⑤管理棟 建築面積：243.88 m²
事務室、会議室、ミーティングルームなど
- ⑥利用種目 第1競技場：バレー3面、バスケット2面、卓球22台など
第2競技場：バレー2面、バスケット1面、卓球8台など
- ⑦収容人数 4,200人（観客席：固定席1,550席）



（第1競技場）



（第2競技場）

【施設の現状】

- ①利用者数 451,337人（平成28年度）
※利用者数については、施設入場者数に教室・講座参加者及びイベント参加者を含めた人数
- ②大会開催数及び開催日数
110大会・145日（平成28年度）
- ③耐震改修 平成27年6月末耐震改修工事完了
※事業費の一部に国費を充当。平成37年6月末までに取り壊した場合は、国費の一部を返納する必要あり
- ④防災面 地域防災計画、応援物資集配用基地等に指定
- ⑤ネーミング・ライツ（平成30年4月1日から）
[愛称] とくぎんとモニアリーナ
[パートナー企業] 株式会社徳島銀行
[契約期間] 平成37年3月31日まで
[施設命名権料] 年間5,940,000円
(7年総額41,580,000円)

【機能面での課題】 ※これまでの主な指摘・要望事項

- 全国規模の大会やプロスポーツを開催するためには、競技場面積・控室・観客席等が不足している
- 大会等の開催時に、駐車場（管轄は徳島市公園緑地課）が不足している
- 夜間（18時～）・休日の稼働率が高く、飽和状態である
- 身障者が競技観戦できるための設備がない（エレベーター・観覧席等）
- 第1競技場で台風等風雨が激しい時に雨漏りする
- 老朽化により、様々な所に修繕すべき箇所が見受けられる …など



外壁・クラック錆び汁



屋根・軒樋損傷



窓・雨返し内樋の腐食劣化



内壁・塗装剥がれ



床・カーペット剥がれ



床・Pタイル破損

【今後整備検討を進めていくうえでの課題】

- 現地で建替えを行う場合、現施設の解体工事・新体育館の建設工事の期間を合わせ、約3年間、スポーツをする場所がなくなる。
- 市の財政事情が厳しい中、建設候補地の選定や建設手法などにおいて、市の財政負担を軽減する方法を検討する必要がある。
- 各種競技の競技規則や先進事例の調査・研究、また、利用団体等からアンケート調査を実施し、新体育館に必要な機能、施設内容等を検討する必要がある。
- ◆利便性が高い市有財産

		旧動物園跡地	県立東工業高校跡地
敷地状況	所在地	中徳島町2丁目	大和町二丁目2番
	敷地面積	約18,879㎡	約28,733㎡
	現況	空き地等（一部公園）	イオンモール徳島第2駐車場
	都市計画の状況	市街化区域 第一種住居地域	市街化区域 近隣商業地域
	都市計画施設	都市計画公園（すべての敷地）	
	建ぺい率／容積率（*）	60％／200％	80％／200％
	所有者	徳島市（約18,879㎡）	徳島市（約18,806㎡） 徳島県（約9,927㎡）
法的制約条件	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画公園の指定を変更する必要がある。 ・第一種住居地域の用途地域指定の解除が必要。 ・北側隣地への日影規制の対策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北側隣地への日影規制の対策が必要。 ・建築物に附置する駐車施設に関する条例により、駐車場整備が必要。 	
まちづくりへの寄与	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅（候補地）との連携により、水辺空間を活かした交流拠点としての役割が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に大型商業施設があり、市東部地域の交流拠点としての役割が期待できる。 	

	旧動物園跡地	県立東工業高校跡地
防災面での寄与	<ul style="list-style-type: none"> • 津波浸水想定が高い地域であり、周辺住民の避難施設としての役割が期待できる。 • 津波浸水想定 1. 0～3. 0m 	<ul style="list-style-type: none"> • 津波浸水想定が高い地域であり、周辺住民の避難施設としての役割が期待できる。 • 津波浸水想定 2. 0～4. 0m
その他の条件	<ul style="list-style-type: none"> • 埋蔵文化財包蔵地に指定、未調査部分について試掘調査が必要。(過去に一部調査済) 	<ul style="list-style-type: none"> • 県が敷地の1 / 3を所有しているため、県との事前協議が必要である。

(*) 建ぺい率：建築物の建築面積の敷地面積に対する割合

容積率：建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合